

ばあちゃんとうどん飯

安芸太田中学校

一年

栗栖

憧

「母さん。今日の夜に飯、何？」

「今日はモロッコ豆の焼き飯にしよう。」

「やっ、たし！」

小さく切ったモロッコ豆とご飯をいため、

よいう油で味付けした香ばしい焼き飯で、家族

みんな大好きです。モロッコ豆の焼き飯を作

ると、お母さんは私たち、子どもに「っもこ

う言います。」

「これはおふくろの味なんよ。ひいばあち

ゃんがばあちゃんに作って、ばあちゃんが母

さんに作って、母さんが子供たちに作って

んよ。みんなも子供が生まれたら、作ってあ

げてね。」

私は、焼き飯を食べながらばあちゃんのこと

を思い出しました。

「ばあちゃん、七年前の秋に病気で亡くな

りました。ばあちゃんはお米が大好きだ、

たということをよくおぼえています。ばあち

と	こ	か	お	を	ん	ぱ	り	く	だ	い	カ	き	の	り	し	ん	バ	お	や
言	れ	ゆ	む	よ	は	り	ま	な	け	、	リ	ッ	は	も	て	も	ま	い	ん
っ	な	に	す	く	、	」	し	り	ど	、	カ	ッ	は	、	、	す	し	の	の
て	ら	み	ず	お	、	」	た	な	ど	、	リ	キ	ッ	と	、	ず	た	家	家
食	食	み	も	ほ	、	」	。食	、	ど	、	カ	ウ	キ	と	、	。と	へ	へ	へ
ハ	バ	よ	食	え	、	」	欲	病	で	病	リ	ウ	ウ	も	も	と	行	行	行
て	ら	う	バ	て	、	」	が	気	、	が	て	の	リ	上	お	と	く	く	く
い	れ	が	ら	い	、	」	な	が	進	進	、	の	手	手	い	も	と	と	と
ま	る	の	れ	ま	、	」	く	で	ん	ん	、	の	で	で	し	い	い	い	い
し	い	漬	な	す	、	」	も	で	、	、	、	の	し	し	。よ	、	、	、	、
た	。	物	く	そ	、	」	、	、	だ	だ	、	、	た	た	く	、	、	、	、
。		を	な	し	、	」	食	食	ん	ん	、	、	。よ	。よ	、	、	、	、	、
あ		そ	り	、	、	」	バ	バ	元	元	、	、	く	く	、	、	、	、	、
ん		え	ま	と	、	」	る	る	気	気	、	、	油	油	、	、	、	、	、
な		て	し	う	、	」	物	物	が	が	、	、	に	に	、	、	、	、	、
に		、	た	と	、	」	は	は	な	な	、	、	漬	漬	、	、	、	、	、
食			。	う	、	」	や	や	な	な	、	、	け	け	、	、	、	、	、
バ				と	、	」	は	は	な	な	、	、	、	、	、	、	、	、	、
る				う	、	」	や	や	な	な	、	、	、	、	、	、	、	、	、
こ				、	、	」	、	、	な	な	、	、	、	、	、	、	、	、	、

とが大好きだった。ばあちゃんか、食べられなく
なっ。たことは悲しかった。ばあちゃん
が最期の最期まで食べられたのは大好きだっ
た。お米がくれた。

ばあちゃんか私たちに教えてくれたこと
それは、食べることは、生きること。っ
んなでおいしく食べられることの幸せ。そ
て、っ受けっぐ、伝える味を大切に

私たちは、お米を毎日食べています。お米
を食べると幸せな気持ちになります。お米が

食べられることの幸せ。そして、おふくろの
味のモロッコ豆の焼き飯、ばあちゃんと一緒に
に食べたご飯のことは忘れません。そして、
私に大人になっ。て子供いもが生まれたとき
話し、伝えていきたく思っています。

ばあちゃん、ありがとう。